

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E111B020		教育課程・方法論 (The Process of Education and Methodology)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	2	2	教育学部 令和4年度 以降入学生用	後学期	金3	日本語		単独								
担当教員	氏名 伊藤安浩 E-mail yasuhiro-ito@oita-u.ac.jp 内線 7636															
授業の概要	教育課程の意義と編成の方法, カリキュラム・マネジメントの考え方について理解する。また, 教育の方法と技術の基本を理解し, 基礎的な知識と技術を身に付ける。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 各学校が編成する教育課程と学習指導要領・教育要領の関係, 要領の改訂の経緯とその社会的背景について理解し, 説明できる。																
目標2 教育課程の編成の方法を, 教育課程のいくつかの類型を具体例として理解し, 説明できる。																
目標3 授業・保育を構成する基本的要件を理解し, 学習指導案の作成や授業・保育の実践のための基礎的な知識と技術を説明できる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									7	3						
授業の内容																
1 教育課程の意義とその編成																
2 教育課程と学習指導要領・教育要領の法的根拠																
3 教育課程と学習指導要領・教育要領の関係																
4 学習指導要領・教育要領の改訂の経緯とその社会的背景																
5 教育課程の枠組みと各教科等の目標																
6 学級担任制または教科担任制とカリキュラム・マネジメント																
7 教材中心教育課程(教科カリキュラム), 学問中心教育課程																
8 学習者中心教育課程(経験カリキュラム), 社会中心教育課程																
9 授業・保育を構成する基本的要件																
10 系統学習, プログラム学習																
11 完全習得学習, 問題解決学習																
12 オープン学習, 総合的な学習																
13 主体的・対話的で深い学びを意識した学習指導案の作成と模擬授業																
14 学習指導と評価~集団準拠評価, 目標準拠評価, 個人内評価~																
15 学習指導と評価~自己評価, 相互評価, 他者評価~																
ラーニング	A:知識の定着・確認		随時, 少人数での意見交換と活動, 発表の場を設ける。			工 夫 の 他 の										
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		講義の内容や関連する事柄について, 文献やインターネット等を利用して, 調べ学習をする。(20h)													
	事後学修		ノートを読み直したりするなどして, 講義の内容を確実に定着させる。(25h)													
	想定時間合計		45													
教科書	使用しない。															
参考書	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年3月告示)」東洋館出版社 ISBN978-4-491-03460-7															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	期末試験	90%										
	毎時間終了時の課題	10%										
注意事項	よく理解できないところがある場合は、ためらわずに質問すること。個別的な質問にはオフィスアワーでも対応するが、講義中または講義終了後の教室での質問を歓迎する。											
備考												
リンク												
	URL											